



2024年8月28日(水)  
国立大学法人岡山大学  
8月定例記者会見(学長発表)

# 産官学多職種連携で挑む 高齢者ヒアリングヘルスの向上方略

国立大学法人岡山大学 学長

那須 保友

副理事(研究・産学共創総括担当)・副学長(学事担当)・上級URA

佐藤 法仁

岡山大学病院聴覚支援センター センター長補佐・准教授

片岡 祐子

# 1. はじめに

私たちの人生において、豊かに生きるという点は、重要なことです。その「豊かさ」は、時代においても、また個人においてもそれぞれであり、何が正しいというものでもありません。ましてやランキング比較で一喜一憂するものでもありません。

豊かさ、これが崩れた際に、私たち大学などの教育研究機関、研究大学が何ができるのかが問われています。さらに崩れる前に手を施す行動を起こすことも求められています。これらは地道で、失敗を繰り返す日々の教育研究活動の蓄積によって成すものです。

岡山大学は、岡山大学長期ビジョン2050の実現に向けて、日々さまざまな活動を地域・社会とともにを行っています。今回は、そのひとつとして「**ヒアリングヘルス**」という側面での活動と、実現したい未来像などを紹介します。

## 岡山大学ビジョン3.0・岡山大学長期ビジョン2050

岡山大学の理念「高度な知の創成と的確な知の継承」  
岡山大学の目的「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」

長期ビジョン2050（～2050）：地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学  
岡山大学ビジョン3.0(2022～2027)：ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学

SDGs大学経営：SDGsへの貢献を大学経営の中核に置き、教育研究・産学共創を一体的に改革して新たな事業モデルを展開		
グローバル・エンゲージメント戦略 国際機関等多様なステークホルダーと協働し、グローバル・エンゲージメントの強化		
岡山大学DX推進プラン：デジタルトランスフォーメーション（DX）for SDGs		
<b>教育</b> 「主体的に変わり続ける先駆者」の育成	<b>研究・産学共創</b> 研究成果の社会実装を促進し社会課題解決	<b>大学経営</b> 変化に強い強靱な組織へ
<ul style="list-style-type: none"><li>大学院教育改革</li><li>学士課程と高大接続の一体改革 (Target2025)</li><li>リカレント教育の充実</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>若手研究者が自由な発想で挑戦的研究に取り組める環境の整備</li><li>学内におけるイノベーション創出機能の集約化と強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ERMによるガバナンス体制の強化</li><li>ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</li><li>インナーブランディングの強化</li><li>大学病院経営の健全化、財源の多様化、自律的な法人経営</li></ul>



岡山大学ビジョン3.0・岡山大学長期ビジョン2050  
<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/ou-vision.html>



## 1. はじめに

今回のヒアリングヘルスの取組は、「岡山大学長期ビジョン2050」の実現に根ざしたものです。同時に本学が昨年度に採択を受けている文部科学省・日本学術振興会(JSPS)の「**地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)**」とも深く関係しています。これは、本学はJ-PEAKSを岡山大学長期ビジョン2050の実現のためのひとつの「手段」として活用しているからです。

本学のJ-PEAKSの取組のひとつ(取組2)では、「**イノベーション創出によるWell-being社会の実現**」を掲げています。デジタル田園健康特区に指定されている岡山県吉備中央町での実践。さらには、そこで得られたノウハウを全国に横展開していく取り組みを全学を挙げて、戦略的に実施しています。

今回のヒアリングヘルスの取組も、デジタル田園健康特区でも活動しています。さらには岡山県全域、そして全国、世界へと広がるものです。岡山大学が取り組む「**産官学多職種連携で挑む高齢者ヒアリングヘルスの向上方略**」が、社会変革の種となり、地域とともに育み、そして社会を変えるものになると私たちは信じて行動しています。ぜひ、より多くのみなさんとともに協働し、社会を変えていければと思います。

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」に採択～地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学:岡山大学の実現を加速とともに世界に誇れる我が国の研究大学の山脈を築く～

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id12723.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12723.html)



国立大学法人岡山大学 (強化を図る機能：①、②)

参画機関：筑波大学、東京大学、東京工業大学、山梨大学、大阪大学、山口大学、理化学研究所、自然科学研究機構、津山工業高等専門学校

取組内容の概要

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～

不易流行の大学法人経営 ～社会変革の実現によるマルチステークホルダーのWell-being追及～

①卓越性の飛躍から世界的課題を解決する新技術創出

50年後、100年後のありたい未来：地球と生態系の健康 (Planetary Health) の実現に向け、地球外活動も視野にいたれた、新たな知見と新技術開発を推進

高等先鋭研究院 先鋭研究群 (研究特区) を選定：(第1弾)  
植物・光エネルギー開発拠点

【10年後】「光合成の根幹をなすタンパク質の機構等」「植物の機構・構造・ゲノム情報」解明により、人工光合成の社会実装、クリーンエネルギー生産システムや極限環境下でも安定・高強度を保つ新素材開発を加速化

世界トップの研究者群 (知の集積) とリソースの傾注により、研究界のトップサークルを先導し、地球規模の課題解決を図り、国際研究イニシアチブを獲得



イノベーションを支える強い基盤づくり：研究基盤の整備と高度専門人材の育成

②イノベーション創出によるWell-being社会の実現

【10年後】デジタルの力で人の持つ力を最大限活用し、医療制度と生活様式の変革を導く拠点  
Community Health & Human Health 先導大学群の形成

DXを軸に産学官連携により誰一人取り残されないコミュニティを創生 (国家戦略特区：デジタル田園健康特区を活用し、中山間地域の課題解決の全国展開)

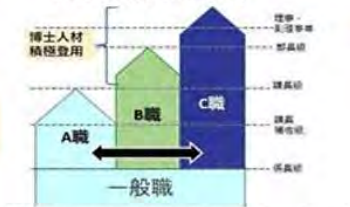


③イノベーション創出の知と技のメッカとなる研究基盤整備 (研究力強化・産業振興拠点)

1. 先端分析計測設備・基盤設備の充実及び共用化の推進
  - ・クライオ電源連携中四国NWを構築
  - ・理研Spring-8のリモートアクセスステーション設置
  - ・最先端設備の整備により大規模実験の事前実験拠点
  - ・基盤設備の共用化促進 (産業界の利用促進)
  - ・コアファシリティポータルによる研究設備のワンストップ利用
  - ・事務処理DX化による業務削減
2. 総合技術部・技術職員の高度化
  - ・TCカレッジの受講によるテクニカルコンダクター (TC) 認定者輩出促進 (ALL-JAPANで技術人材の高度化・関係機関、企業等との頭脳循環)
  - ・博士人材の積極登用 (大学院修学支援制度による博士号取得促進)
  - ・プロジェクトマネジメント国際資格 (PMP) 取得促進

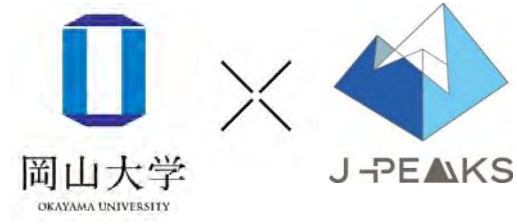
④ 研究界の国際トップサークルを先導する研究者と知識を活用し社会を変革するナレッジワーカーの育成・輩出

1. 複線型人事制度 (複数キャリア)
2. 研究マネジメント人材認定制度
3. 事務職員の機能分化と高度化 (博士号取得修学支援制度)
4. 教員の機能分化と全体最適
5. スーパーPI制度 (優秀な若手研究者支援)
6. 特区卓越研究者制度
7. シニア・ミドルトップ研究者制度



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

岡山大学の取り組み図



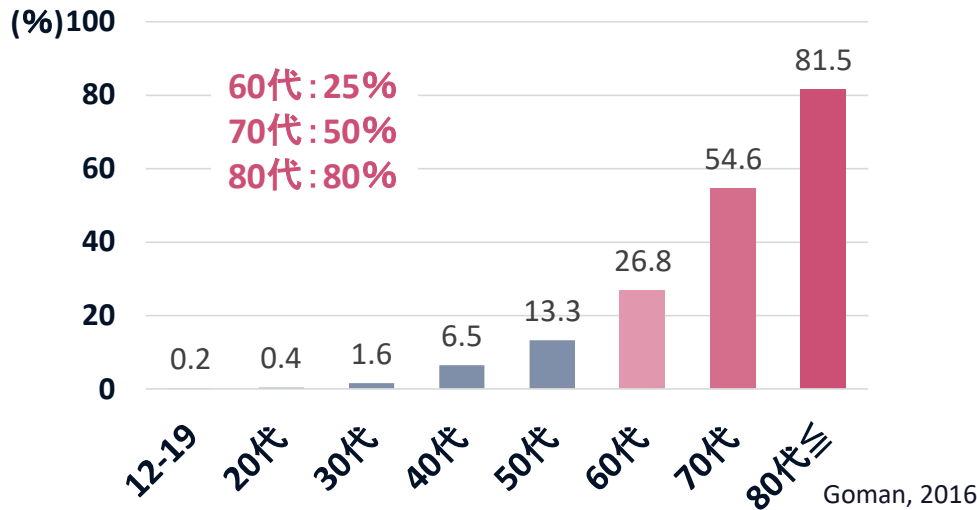
世界に誇れる研究大学の山脈を築く

# 背景：加齢性難聴の4つのFact

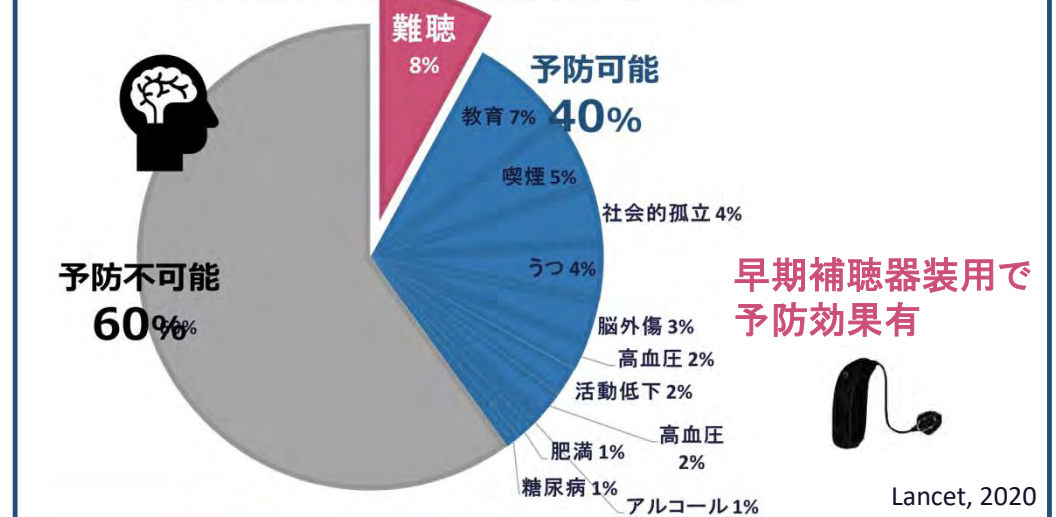


高齢化率世界一の日本において  
予防医療推進は緊急の課題!!

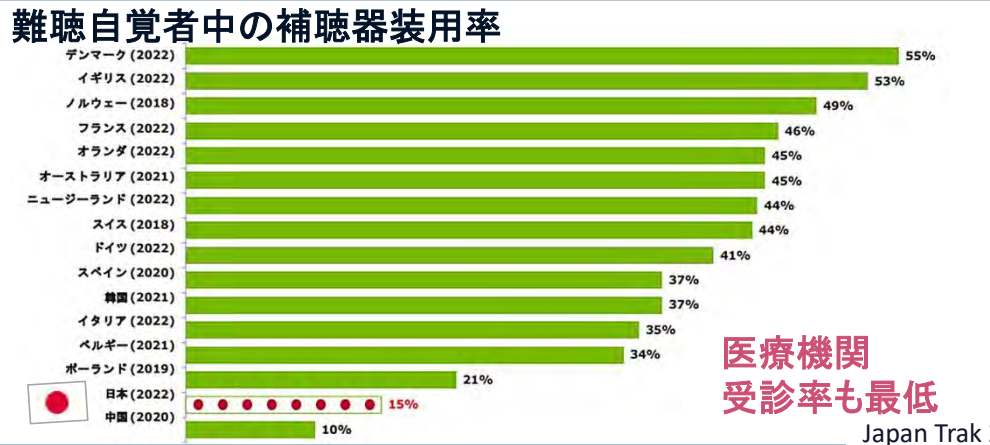
## ① 年齢とともに聴力は低下する



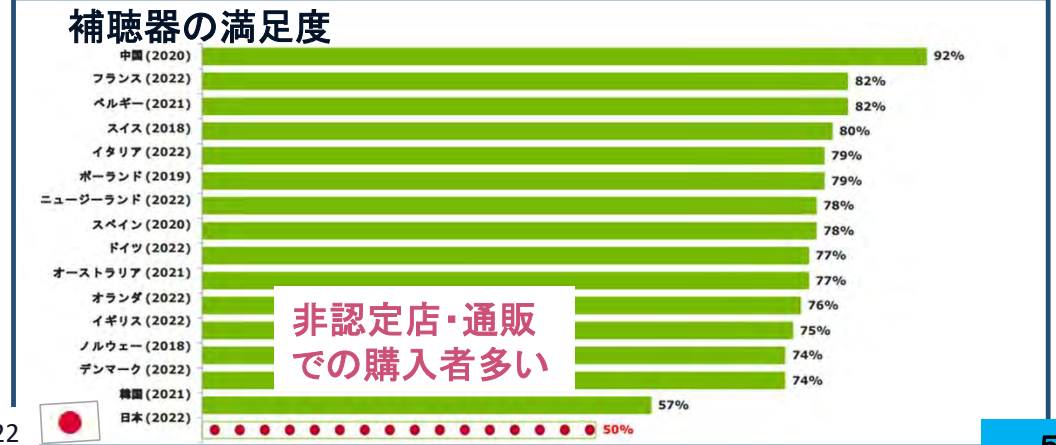
## ② 難聴は認知症の最大のリスク因子



## ③ 日本の補聴器装用率は先進国中最低レベル



## ④ 補聴器の満足度も最低



# 補聴導入のボトルネック

特に非都市部では深刻

## ① 聞こえへの意識

- 難聴の自覚不良
- 補聴の意識の欠如
- 聴力測定のお機会の欠如

啓発・検診

## ② 適所へのアプローチ

- 医療機関の偏在
- 認定補聴器販売店の偏在
- 眼鏡店、農協、通信販売の横行

ルート作成

低い補聴器装用率

## ③ 専門家の技量

- 耳鼻咽喉科医の知識不足
- 補聴器技能者の技量の個人差

専門家教育

## ④ 価格

- 適正な補聴器は高価格
- 軽度・中等度難聴は福祉適応外
- 通販補聴器や集音器は安価

助成制度





# 自動聴覚検診・遠隔判定



デジタル田園都市国家構想  
DIGIDEN



## 課題

- 難聴に気付いていない
- どこへ受診、どこで補聴導入すればいいか分からない



## 対策

高齢者自動聴覚検診・遠隔判定導入による補聴器必要者の早期発見・啓発事業



1. 自動聴覚検診による難聴の早期発見
2. 遠隔DXで受診や補聴の必要性を判定
3. 希望者へ受診・補聴の導入

自動検査で人手削減

遠隔判定で地域限定なし

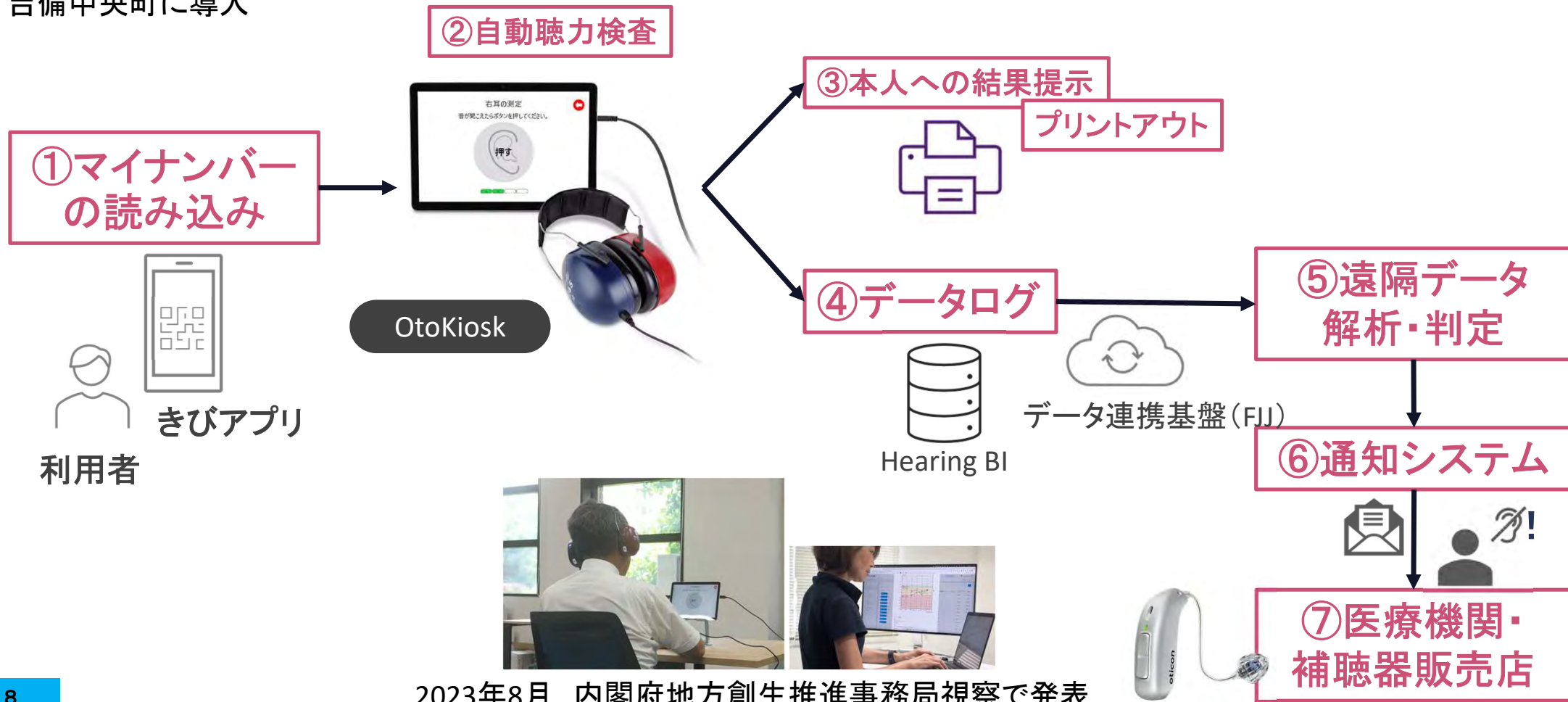
ルート作成で円滑な運用



自治体での導入は  
日本初

# 自動聴覚検診・遠隔データ解析

吉備中央町に導入



2023年8月 内閣府地方創生推進事務局視察で発表

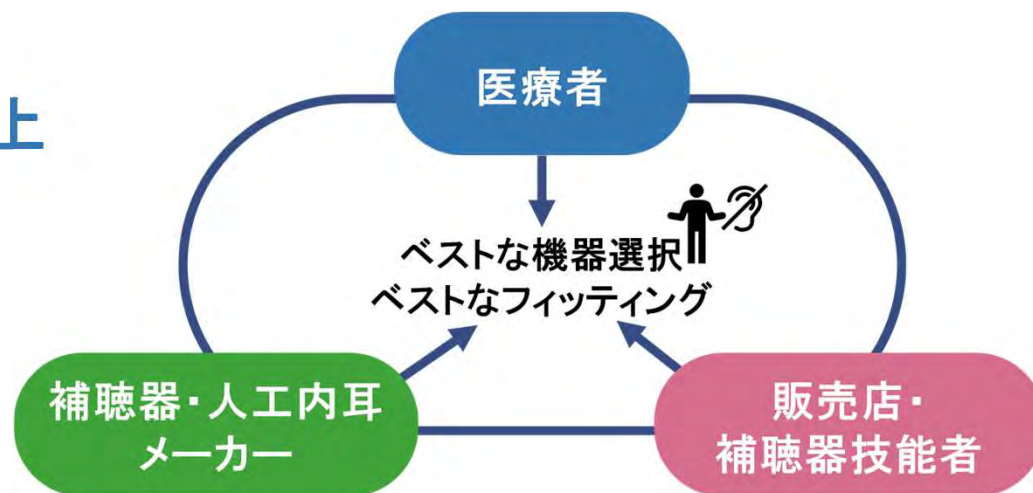




# 補聴器販売者講座 第1回ヒアリングヘルスコンソーシアム講習会

## 目的 難聴者の聞こえとQoLの向上

1. 補聴器販売者の技能向上
2. 方向性の共有



中国・四国・九州・関西地方より90名以上が参加



### 協働

補聴器販売店協会主催 **JHIDA**  
JAPAN HEARING INSTRUMENTS DISTRIBUTORS ASSOCIATION

人工内耳・補聴器メーカー(計9社)協賛



# ヒアリングヘルス向上方略 in 岡山 : ②ヒアリングヘルス コンソーシアム 2023~

## 補聴機器メーカー・学会・海外との連携から拡大へ

日本-デンマーク  
デンマーク高齢担当大臣来日に際して開催  
『健康寿命』についてのセミナー及びパネルディスカッション  
2023年9月29日(金) デンマーク大使館



協働 **ReSound GN**  
**WIDEX**  
**oticon**  
一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会  
Japanese Society of Otorhinolaryngology Head and Neck Surgery

### 報道

#### Report ① 第一回ヒアリングヘルスコンソーシアム講習会開催

聴覚障害の軽減や聴覚補聴による生活の質の向上、実用性(音質)向上が期待されるなど、近年注目を集めている。本記事では、この分野から注目されることについて、関係者から話を伺った。

聴覚障害は、聴覚機能の低下を指し、聴覚機能の低下により、音の聞こえが正常な範囲を超えて低下している状態を指す。聴覚障害は、年齢とともに進んでいくことが多く、聴覚障害の予防や治療が重要である。聴覚障害の予防には、聴覚検査や聴覚補聴器の着用などが有効である。聴覚補聴器は、聴覚障害を軽減し、聴覚機能を正常化する効果がある。聴覚補聴器の種類は、個人差があり、聴覚障害の種類や程度によって異なる。聴覚補聴器の選び方や使い方は、聴覚専門医や聴覚補聴器の専門家に相談することが重要である。

聴覚補聴器の種類は、個人差があり、聴覚障害の種類や程度によって異なる。聴覚補聴器の選び方や使い方は、聴覚専門医や聴覚補聴器の専門家に相談することが重要である。

#### 補聴器情報

##### デンマーク大使館 日本-デンマーク共通の社会課題「健康寿命」についてのセミナー及びパネルディスカッション開催 高齢者聴覚ケアのストラテジー(戦略)を岡山山・片岡祐子ドクターが提言

聴覚障害は、高齢者の生活の質を低下させる主要な原因の一つである。聴覚障害を軽減し、健康寿命を延ばすためには、聴覚ケアの戦略が重要である。聴覚ケアの戦略には、聴覚検査、聴覚補聴器の着用、聴覚トレーニングなどが含まれる。聴覚ケアの戦略は、個人差があり、聴覚障害の種類や程度によって異なる。聴覚ケアの戦略の選び方や使い方は、聴覚専門医や聴覚補聴器の専門家に相談することが重要である。

聴覚ケアの戦略は、個人差があり、聴覚障害の種類や程度によって異なる。聴覚ケアの戦略の選び方や使い方は、聴覚専門医や聴覚補聴器の専門家に相談することが重要である。

#### 月刊誌 FITTING

聴覚補聴器の選び方や使い方は、聴覚専門医や聴覚補聴器の専門家に相談することが重要である。聴覚補聴器の種類は、個人差があり、聴覚障害の種類や程度によって異なる。聴覚補聴器の選び方や使い方は、聴覚専門医や聴覚補聴器の専門家に相談することが重要である。

#### 月刊誌 THE EYES

### 展開

2024年9月 第2回ヒアリングヘルスコンソーシアム開催  
11月 九州ブロック開催

4都府県視察

# ヒアリングヘルス向上方略 in 岡山 : ③難聴高齢者補聴器購入費助成事業 2024~



**目的** 聞こえづらさから、日常生活に不安を感じている高齢者の適切な補聴器装用につなげ、コミュニケーション能力の維持・向上を図ることで、フレイル予防や社会参加を促進する。

## 助成事業

**対象** 岡山市に住民登録がある65歳以上  
市民税非課税世帯  
身体障害者手帳(聴覚障害)対象外

**頻度** 前回助成交付より5年以上経過

**助成額** 上限25,000円(補聴器購入費の2分の1以内)  
※対象機種:原則耳かけ型またはポケット型

**要件** 1. 耳鼻咽喉科医(身体障害者福祉法第15条指定医または補聴器相談医)による意見書  
2. 認定補聴器専門店で購入

## 啓発

1. 聞こえ啓発講演会開催
2. 介護予防事業等を通じた啓発

**聞こえづらいのは齢のせい?**  
「加齢性難聴」は年齢とともに音を感じる細胞が減少することで起こります。

- 会話をしている時に聞き返す。
- 後ろから呼びかけられると、気づかないことがある。
- 聞き間違えが多い。
- 話し声が大きいと言われる。
- 見えないところからの車の接近に気づかない。
- 電子レンジなどの電子音が聞こえない。
- 耳鳴りがある。

0~2歳 実生活でお困りのことがあれば、耳鼻咽喉科を受診しましょう。

3~4歳 耳鼻咽喉科で相談してみよう。

5歳以上 早めに耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします。

**STEP1 受診**  
耳鼻咽喉科を受診し、難聴の診断・治療。補聴器が必要か効果があるか判断。

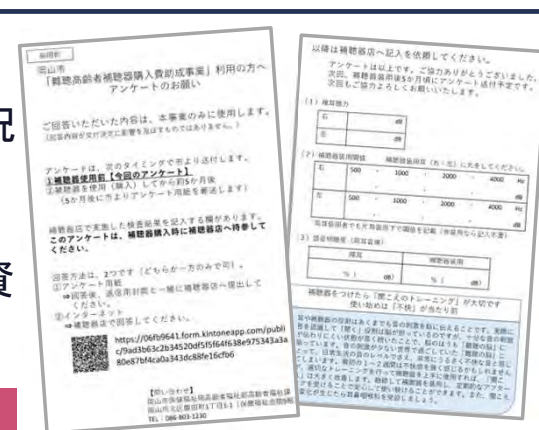
**STEP2 補聴器店相談**  
補聴器を一ひとりの聞こえに合わせて調整。

**STEP3 調整**  
補聴器を使用し、聞こえに不具合など感じることがあれば補聴器店で再度調整してもらう。

## 装用前後アンケート調査

1. 補聴器装用前・6ヶ月後の生活状況の変化を調査
2. 効果を分析
3. 補聴器の安全で効果的な使用に資する普及啓発活動の実施に活用

デジタルデータ入力・管理も導入



2024年度末評価予定

開始後2週間で50件受付(2024年度対象者160件想定)

# ヒアリングヘルス向上方略 in 岡山 : ④高齢者自動聴覚検診 2024~



自治体での導入は  
国内初

## 自動聴力検査搭載 聴覚検診車 Audika Go

### 目的

特に耳鼻咽喉科医療機関や認定補聴器専門店の少ない地域で、

1. **啓発**: 聴こえに対する関心を喚起
2. **簡易聴覚検診**: 聴こえの状態を認識する機会を確保
3. **医療機関受診の支援**: 正しいルートでの補聴導入



### 運営

**Audika Demant**

日本臨床耳鼻咽喉科医会 岡山県地方部会 主催  
岡山大学病院聴覚支援センター 運営主管  
Audika & デマント・ジャパン 協賛+後援



「聴こえのチェック」で街に笑顔の輪がひろがっています♪



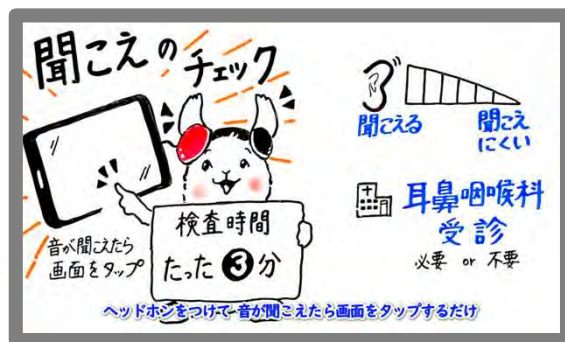
県から27市町村に募集 → 2024年 8市町でトライアル・セミナー予定

岡山市 玉野市 瀬戸内市 笠岡市 新見市 吉備中央町 矢掛町 勝央町

# ヒアリングヘルス向上方略 in 岡山 : ④高齢者自動聴覚検診 2025～

## 将来的な聴覚検診の展望

2 types of paths



### Outbound

検診車両での巡回型



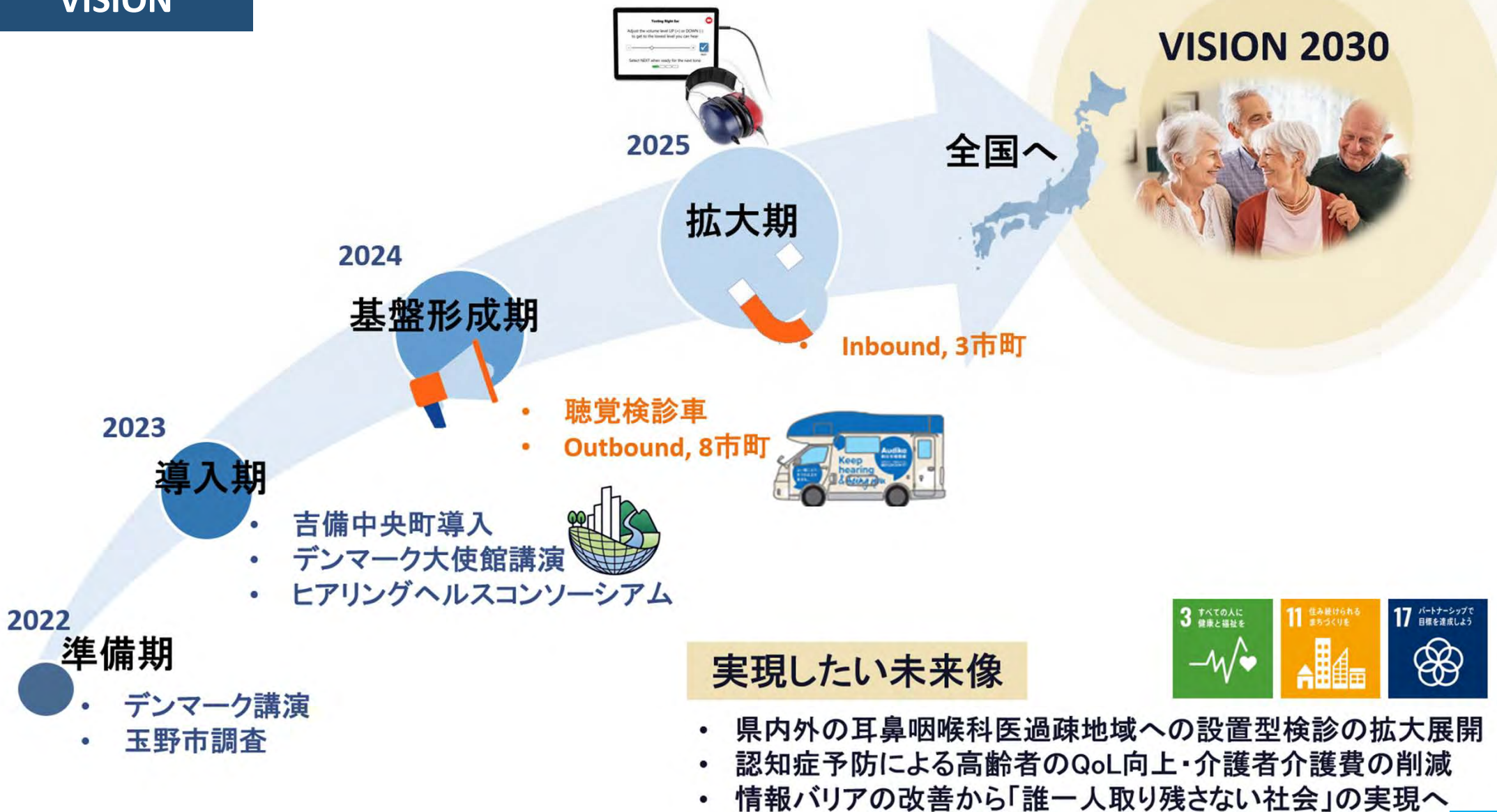
### Inbound

地域の保健センター等への設置型



- アクセシビリティ
- 実施人数 ↑↑

# VISION





これからの聴覚支援に役立つ最新研究情報

# きこえのミライ

シーズン 2

無料 字幕付

オンデマンド動画配信プログラム

〈視聴期間〉  
2024年8月6日(火)～12月31日(火)  
〈申込期間〉2024年8月6日(火)～11月30日(土)



## 演者



茨城大学 教育学部  
障害児生理学研究室  
田原 敬先生



岡山大学病院  
聴覚支援センター  
片岡 祐子先生

エリクスホルム研究センター  
ジェームズ・マイケル・ハート博士  
ハミッシュ・イネズ・ブラウン博士  
ドロシア・ヴェント博士

オーティコン補聴器  
エリン・ホイ・ニン・ン博士  
セバスチャン・サントウレット博士  
田中智英巳

インターアコースティクス研究ユニット  
ソーレン・ラウガセン博士

共同主催：茨城大学教育学部 障害児生理学研究室、岡山大学病院 聴覚支援センター、オーティコン補聴器

<https://www.oticon.co.jp/event/kikoenomirai>





国立大学法人岡山大学  
第15代学長(第5代法人の長)  
那須 保友

地域中核・特色ある研究大学 岡山大学が拓く今と未来

OKAYAMA  
UNIVERSITY  
×  
SDGs



私たちは大学が地域と地球の未来を共創し、世界を変革させ、  
持続可能な社会を実現させる“力”があることを信じています

【地域中核・特色ある研究大学強化促進事業に関する件】

岡山大学研究・イノベーション共創機構

研究・イノベーション共創管理統括部

TEL: 086-251-7115

E-mail: innovation@adm.okayama-u.ac.jp

【岡山大学病院聴覚支援センターに関する件】

岡山大学病院聴覚支援センター

センター長補佐・准教授 片岡祐子

TEL: 086-223-7151(代表)

E-mail: yu-kat@cc.okayama-u.ac.jp